令和８年度宗像市環境保全審議会（第１回）

＜議事要旨＞

■日時、場所

○日時：令和８年１０月６日（火）１３：３０～１５：００

○場所：市役所北館１０３Ａ会議室

■出席者

○審議会委員

委員出欠表　（■出席　□欠席）		
■奥谷委員	□篠原委員	■中石委員
■中村委員	■久門委員	□福吉委員
■松本委員	■米倉委員	

○事務局：環境部 山倉部長、環境課 中村課長、環境課資源廃棄物係 松成係長、脱炭素社会推進課政策係 瀧口係長、環境課環境政策係 大森係長、田中

１　開会

・事務局紹介

・配布資料の確認

２　環境部長挨拶

山倉環境部長より挨拶

３　出席者紹介

各委員より自己紹介

４　委嘱状交付

山倉環境部長による委嘱状交付

５　会長及び副会長選出

事務局から会長に松本委員、副会長に中石委員を推薦する提案があった。

⇒　（異議なしの声）会長は松本委員、副会長は中石委員に決定。

６　審議事項（進行：松本会長）

（１）審議会の運営について

【事務局からの説明】

・宗像市市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例第９条各項に基づく宗像市環境保全審議会の運営について説明

・宗像市市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例施行規則第６条第１項に基づく議事録の作成方法について説明

【質疑応答及び意見】
なし

（２）第２次宗像市環境基本計画（中間見直し）令和７年度進捗評価報告（案）について

【事務局からの説明】
・「第２次宗像市環境基本計画の概要」、「進捗評価の目的」及び「評価・確認手順」について説明
・「計画指標の進捗状況」及び「各分野における令和７年度の個別施策の進捗状況」について報告

【質疑応答及び意見】
（委員）
計画指標について、令和７年度のリサイクル率が低下した要因はあるのか。

（事務局）
・民間事業者による資源回収場所の増加により、市の回収実績に反映されない資源回収が増えているためであると推測している。民間事業者には回収量を市へ報告する義務がないため、市ではその実態を把握できていない。
・リサイクル率を補完するものとして、１人１日あたりの家庭系可燃ごみ排出量が重要な指標になると考えている。民間事業者による資源回収が増え、行政が把握する資源回収量が減ったとしても、市民の分別や資源化が進めば、可燃ごみとして排出される量は減る。最終的に焼却処理するごみの量を減らしていくことが重要であることから、１人１日あたりの家庭系可燃ごみの排出量を注視していきたい。

（委員）
計画指標の令和７年度の環境講座受講者数は１，１７６人だが、個別施策の報告では９６７人となっている。差がある理由は何か。また、目標値１，８００人に対する現状の課題や今後の取組を伺いたい。

（事務局）
・計画指標の受講者数には、個別施策に記載のある水辺教室の参加者９６７人に加え、小学５年生を対象としたエコチェックシートの参加者数を含めているため。
・目標設定時と比べ、市内小・中学校の児童・生徒数が減少していることも、目標未達の要因の一つと考えている。今後は、水辺教室に加え、新たな環境教育の取組を検討していきたい。

（委員）
学校教育のカリキュラムに環境教育が含まれているため、学校の取組を吸い上げることで、目標達成に近づくのではないか。

（事務局）
学校教育の中で実施されている環境教育について、取組内容の把握を検討したい。
現在、一部の小学校と連携して給食調理くずによるダンボールコンポストを実施している。今後も各学校と協議・連携しながら、新たな環境学習の取組を検討していきたい。

（委員）
第２次宗像市環境基本計画の取組事業は、項目や種類が多岐にわたり全体的に数が多いと感じる。第３次宗像市環境基本計画でも、取組事業の項目や数は第２次宗像市環境基本計画と同様なのか。

（事務局）
都市計画マスタープラン等の他の部署が策定した計画を確認し、取組事業が重複する項目を見直すなど、数が多くならないよう委員の意見を伺いながら進める。

（委員）
計画指標について、測定不能な項目が多くあるが、今後どのように進めるのか。

（事務局）
・第３次宗像市環境基本計画では、第２次計画の指標をそのまま踏襲せず、委員の意見を踏まえながら、測定可能な指標を設定したい。
・第２次計画の最終評価では、市民アンケートで把握できない項目について、別途アンケート調査等を実施するなど、指標の達成状況を適切に把握したい。

（委員）
第２次宗像市環境基本計画の個別施策の取組事業について、各取組事業の進展状況をわかりやすく表示することを検討してほしい。また、計画指標の地球温暖化について、市内の温室効果ガス総排出量が令和４年度のデータであるのに対し、市民１人あたりの二酸化炭素排出量が令和５年度のデータになっているのはなぜか。

（事務局）
個別施策の取組事業については、進捗状況がわかりやすく表現できるように検討したい。市内の温室効果ガス総排出量、市民１人あたりの二酸化炭素排出量は、いずれも環境省が公表する最新のデータを記載しており、市内の温室効果ガス総排出量は令和４年度、市民１人あたりの二酸化炭素排出量は令和５年度が最新のものとなっており、年度のずれが生じている。

（委員）
データの年度をそろえたほうが比較しやすいのではないか。

（事務局）
年度をそろえた表記を検討する。

（委員）
CO_2排出量について、どのような行動がCO_2排出の抑制につながるのかがわかるとよいと感じた。

（事務局）
マイカーではなく公共交通機関を使用するなど、どのような行動がCO_2削減につながるのかがわかりやすく示せるよう今後検討したい。

（３）第３次宗像市環境基本計画策定方針及びスケジュールについて
【事務局からの説明】
「第３次宗像市環境基本計画策定方針及び全体スケジュール」、「各審議会の内容」及び「ワークショップの実施時期」について説明

【質疑応答及び意見】
（委員）
２月の環境イベントの日程は決まっているか。

（事務局）
２月２０日（土）に環境フェスタの開催を予定している。

（４）第３次宗像市環境基本計画の市民・事業者アンケートの内容について
【事務局からの説明】
「第３次宗像市環境基本計画の市民・事業者アンケートの内容」について説明

【質疑応答及び意見】
（委員）
「生物多様性について知っている、または聞いたことがある市民の割合」は、第２次宗像市環境基本計画のアンケートには入っているが、第３次計画のアンケートには入っていない。自然を守る取組を評価するため、項目に追加すべきと考える。

（事務局）
基本的には第２次宗像市環境基本計画を踏襲しつつ、現在の環境のトレンドや現状に合わせた内容でアンケートを実施する。委託業者とも再度検討する。

（委員）
アンケートで世帯人数を尋ねる意図は何か。また、選択肢が「６人」となっている設問は、「６人以上」へ変更すべきであると考える。

（事務局）
世帯人数と各設問の回答をクロス集計し、世帯人数による回答傾向の違いを把握するためである。また、選択肢の「６人」は「６人以上」に修正する。

（委員）
第２次宗像市環境基本計画の進捗評価で毎年測定していない「水辺のふれあいに満足する市民の割合」について、第３次計画のアンケートＰ４の項目５「水や水辺のふれあい」が残っているが、第２次計画の指標を評価するために個別に集計しないのか。

（事務局）
・一旦は現状を把握するために幅広くアンケートを実施し、その結果次第で第３次計画の指標に入れるかどうかは別途検討する。
・今回のアンケートはあくまで現状把握のためのものであり、第２次計画の計画指標の評価とは切り離したものである。

（委員）
第２次宗像市環境基本計画策定時のアンケートと同様の内容か。

（事務局）
内容は第２次宗像市環境基本計画策定時とは異なる。

（委員）
・内容が重複していると感じるものがある。
・全体的に設問数が多いので、類似する内容の設問はまとめて、設問数を削減してもよいのではないか。

（事務局）
ご指摘を踏まえ、各設問の目的を整理したうえで、重複する設問の統合や表現の見直し、設問数の削減を検討する。

（委員）
・学校教育やイベント参加に関する設問では、子どもの有無や年齢、世帯構成が参加しやすさに影響する可能性があるため、その要素を入れるか検討が必要である。
・全体として項目が多く、簡素化できる余地がある。ただし、項目をまとめすぎると回答しにくくなるため、「マイバッグ」などの具体表現よりも、「資源を無駄にしない行動をしている」「不要なものを受け取らないようにしている」といった、行動

内容が伝わる表現に変える工夫が望ましい。

（事務局）
ご意見を踏まえて検討する。

（委員）
「現在」の状況と「今後」の考えを尋ねる設問について、両方に回答する必要があることがわかりにくく、回答漏れが生じる恐れがあるため、レイアウトを工夫した方がよい。

（事務局）
「現在」と「今後」の両方に漏れなく回答してもらえるよう、レイアウトを修正する。

（５）その他
なし

以上